



日本勤労者山岳連盟
Japan Workers' Alpine Federation
〒162-0814
東京都新宿区新小川町5番24号
TEL 03(3260)6331(代)
FAX 03(3235)4324(代)
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は

フリーダイヤル
0120-44-2742
(平日10時~18時)
E-mail: jwaf@jwaf.jp

全国遭難対策研究集会

神戸市で開催

全国から152名が結集 活かそう 事故の教訓



集会終了後に有志で行われた懸垂下降技術の実技体験

—死亡事故や、地方連盟主催の学校、講習会などでの重大事故をなくそう！
全国遭難対策研究集会は、近畿地方協議会の協力を得て、2015年6月27日~28日に兵庫県神戸市の「神戸セミナーハウス」で開催しました。この集会には全国19地方連盟から152名(参加者、スタッフ含む、うち宿泊は84名、日帰り参加は68名)が参加

し、大きく成功しました。また、労山外からも大阪連3名、岡山連1名の参加がありました。

交流集会」を交互に開催してきました。しかし、地方連盟代表者との情報交換、討論や、救助隊関係者だけの集まりでは十分な遭難対策ができていないと感じていました。

そこで、今回は東京では報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

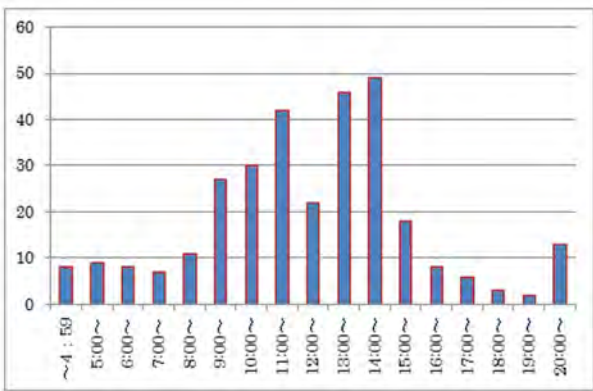
報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊

報告があり、死亡・行方不明者は111名にもなっています。このため、全国連盟はこれまで、隔年「全国遭難対策担当者会議」と「全国救助隊



2014年1~12月労山会員
事故発生時の時間帯



2014年1~12月労山会員
事故者の年齢別・男女別内訳

3つのテーマで
討議を深める
初日の27日(土)は、

午後1時開会。テーマ1では「県連登山学校・リーダー養成山の事故」について、北海道連盟の報告その他がありました。北海道では、道央連盟加盟会で2013年11月に十勝連峰・上ホロカメツトク山(1920m)で、女性会員1名が低体温症により死亡する事故が発生しました。吹雪のなか、仮設置したテントが風で飛ばされ、破損したものです。報告書では、行動時間の設定、GPSの活用による位置特定、アイゼンを脱ぐことができなかったことなどの問題が指摘され、ビバーク時の切り抜け方を学ぶことの重要性などが指摘されています。

ネパールに5千ドルを寄付

アジア山岳連盟理事国会議 キルギスで開催



山ジのののアの
のから
の国
の者
のた
のち

労山が加盟するアジア山岳連盟(UAAA)の理事国会議が、中央アジア・キルギス共和国の首都ビシュケク市アルバイホテルで6月10日~6月14日に開かれました。

この会議は、総会と総会の間に、各国回り持ちで開かれています。参加したのは日本(日本山岳協会、労山)、韓国、台湾、香港、イラン、キルギス、ロシア(ノボシビルスク)、カザフスタン

の8カ国、10団体の20名です。労山からは浦添理事長と花村副理事長が参加しました。いつもは参加するネパールは、先日の大地震のため不参加でした。アジア山岳連盟からはネパール山岳協会に5千ドル(約60万円)が寄付されることが決まりました。

また、カザフスタンの再加盟と、ロシアのノボシビルスク山岳会の新規加盟が承認されました。会議に引き続いて、キルギス山岳協会ウラジミール会長の案内により、6月12~14日の二泊三日で、アクサイ氷河トレッキングが行われました。

テーマ2では「重大事故に会と連盟はどうかかわってきたか」について、大阪府連盟の経験などが話されました。大阪府連盟では、2014年度に事故件数が20件と前年より増大し、しかも死亡事故1件を含む重大事故が7件(すべてテーマ3では「会の山行計画に連盟はどうかかわるか」について、福岡県連盟から「事故ゼロ運動」の経験が報告されました。福岡県連盟では、毎年のように死亡事故が続いていました。(次ページに続く)

全国遭難対策研究集会資料集に収録された各地からのレポート

- 氷ノ山滑落事故報告 和歌山県・紀州山友会
- 上ホロカメツトク山遭難事故報告と今後の対策 北海道道央・札幌やまびこ山友会
- 積丹岳山岳遭難救助事故裁判が問うもの 北海道・松浦孝之
- 大阪中級登山学校の理念と事故防止一事故の根絶を目指して中級登山学校での取り組み 柳川憲一
- 2014年度 大阪府連の重大事故と対応 会の関わり 早川俊
- 懸垂下降連続事故 大阪ぼっぽ会
- 懸垂下降の技術 検討会・体験会(緊急) 大阪府勤労者山岳連盟教育遭対部
- 計画書拝見について 福岡県連盟 理事長 徳永武彦
- 兵庫県連盟における「山行計画連絡会」の取組について 兵庫県連盟
- 流動分散を結ぶことの検討 労山大阪府連技術委員会
- あるハーネスの問題点 大阪労山救助隊・河野良治
- 百丈やぐらの現状と整備がめざすもの 大阪府連・森浜学

●第14回東日本女性登山交流集会

日時 10月24日(土)～25日(日)
会場 山梨県富士河口湖町・西湖
「レイクホテル西湖」
主管 山梨県連(山梨・山の会)
テーマ 「子供らに残そう豊かな自然
富士山麓の集い」
講演 ①「親子三代アツモリソウを守って」
中村光吉さん(三ツ峠山荘管理人)
②「南アルプスをリニアが貫くと」
松島信幸さん(日本地質学会名誉会員)
参加費 11,000円
募集人員 150名
※2日目には烏帽子岳、足和田山、王岳、三ツ峠などで交流登山
申込先 所定用紙で池原登美子(メール)か藤元理津子(FAX)へ

●第6回西日本女性担当者交流集会

日時 10月17日(土)～18日(日)
会場 鳥取県立船上山少年自然の家(鳥取県琴浦町)
主管 中国地区協議会 実行委員会
テーマ 「山で死なないための安全登山とは」
講演 ①「山岳医療班の現場から事故や遭難を考える」
臼杵尚志さん(香川大学医学部准教授)
②「大山の自然と自然保護」
矢田貝繁明さん(大山自然歴史館館長)
参加費 7,000円
募集人員 100名
※2日目には船上山各コースで交流登山
申込先 県連単位で所定用紙により岡山県連女性委へ(メールかFAX)



1部200円(送料別) 郵送でお届けします。注文は全国連盟事務局まで。

5月30日 12:00 発生
東京都連盟 男性 59歳

7月5日 5:50 発生
北海道・道央連盟 男性 74歳

急性心疾患が多発
死亡事故が相次ぐ
山(869m)の山頂手前で突然倒れ、意識を失う。心臓マッサージと人工呼吸を行う。救急隊が到着し、ヘリで病院に収容するも、心室細動により死亡確認。

2月1日 10:30 発生
福岡県連 男性 75歳
福岡県・宝満山系の宝満山から縦走路を歩き、仏頂山(869m)の山頂手前で突然倒れ、意識を失う。心臓マッサージと人工呼吸を行う。救急隊が到着し、ヘリで病院に収容するも、心室細動により死亡確認。

事故事例

7月4日 12:20 発生
福島県連 男性 64歳
谷川連峰・平標山(1984m)友人3人で登山。このうちのHさん(労山会員外)は別行動を希望したため山頂での再会を約し、Mさん(労山会員)ら2人と別れた。しかし登山道で倒れているHさんが他の登山者に発見され、通報を受けたMさんが引き返してHさんを救助しようとしたが、Mさんも倒れた。二人とも、病院に搬送されたが急性心不全で死亡が確認された。Mさんはベテランだった。

登山中の心疾患を予防するには

日本勤労者山岳連盟・遭難対策部発行パンフ「脳疾患・心疾患 解説」から

日常生活で心がけること
※十分な睡眠と栄養バランスのよい食生活を心がける。過食にならないようにし、規則正しい生活を心がける。
※日ごろから運動習慣をつける。休日に山に登るだけでなく、できる範囲でもよいから日常の運動を続けること。心疾患の予防にもつながるし、また体力を維持し、登山の可能性を広げてくれる。
※深酒や暴飲暴食は慎む。
※適度な休息や気分転換の趣味などをもち、ストレスをためこまないようにする。登山そのものがストレス解消になることは言うまでもない。
※禁煙。タバコは百害あって一利なし。



調査会での討議

(組織基本問題調査会) 委員長: 安田治
●第1委員会 委員長: 大塚三紀夫(九州)
副委員長: 佐々木功(関東)、委員: 安田治(北海道)、滝上肇(近畿)、浦添嘉徳・石川友好・藤元理津子(全国連盟)
●第2委員会 委員長: 渡邊健治(奥羽) 副委員長: 中田宏(四国)、委員: 國本哲広(中国)、広木国昭・大澤辰雄(全国連盟)
●第3委員会 委員長: 洞井孝雄(東海)、委員: 赤間弘記(東北)、金井光弘(北信越) 高橋友也・花村哲也(全国連盟)

今年(2015年)2月にしてこの2年間に4回の調査会を開催しました。開催にあたっては、テーマを3分野に分け、3つの委員会を設置して討議をすすめています。その体制は表のとおりです。
以下に最終答申の要点を紹介します。これを受け、全国理事会は今後の具体化をはかり、来年の全国総会に提起していきます。

第1委員会

首都圏のみから選出されている全国理事会体制を改めて、インターネットを利用したWEB会議による広域理事会体制を導入すべき。また、若い全国理事選出

第3委員会

安全対策基金のあり方および安全登山のスタンダード作りについて討議した。安全対策基金の取り組みは評価できるが、事故は減っていない。安全登山にかかわる基本的な項目について技術書のようなものではないスタンダードを策定し、共通の土台とすべきである。

安全対策基金のあり方および安全登山のスタンダード作りについて討議した。安全対策基金の取り組みは評価できるが、事故は減っていない。安全登山にかかわる基本的な項目について技術書のようなものではないスタンダードを策定し、共通の土台とすべきである。

急性心疾患が多発
死亡事故が相次ぐ

今年に入って、労山会員の健康管理が大切と言われま。皆さんもぜひ、気を付けてください。

7月にはパートナース会員(個人会員)も含め4名が死亡するという重大な事態となつています。特徴的なのは全員が50代以上の男性で、死亡率が高いこと。脳

全員が50代以上の男性
日常的な健康管理が重要

7月4日 12:20 発生
福島県連 男性 64歳
谷川連峰・平標山(1984m)友人3人で登山。このうちのHさん(労山会員外)は別行動を希望したため山頂での再会を約し、Mさん(労山会員)ら2人と別れた。しかし登山道で倒れているHさんが他の登山者に発見され、通報を受けたMさんが引き返してHさんを救助しようとしたが、Mさんも倒れた。二人とも、病院に搬送されたが急性心不全で死亡が確認された。Mさんはベテランだった。

7月14日 新潟県・越後駒ヶ岳でROUSANパートナース会員(男性)68歳(茨城県在住)が山小屋一泊の予定で二人で入山。ペリスが遅く単独行動となったが、急性心疾患で死亡。パートナース本部に登山届はでていなかった。

単独登山は危険がいっぱい
警察庁統計は語る

この他にも、各地からさまざまな報告が寄せられてきた。
28日(日)は、懸垂下降技術など実技面での問題について討論が行われ、午後からは有志で実技体験の催しがありました。

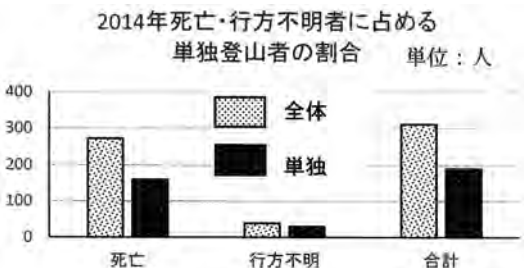


Table with 4 columns: Category, Total, Solo Climbers, Ratio, Multiple Climbers. Data: Death (272 total, 160 solo, 59% ratio, 112 multiple), Missing (39 total, 30 solo, 77% ratio, 9 multiple), Total (311 total, 190 solo, 61% ratio, 121 multiple), Total Victims (2794 total, 941 solo, 34% ratio, 1853 multiple).

山梨県・三ツ峠山(1785m)屏風岩を登攀し、懸垂下降で基部到着後、突然、胸部が強く痛みだした。救助要請してヘリでピックアップ。心筋梗塞。手術で回復。
7月4日 13時発生 大阪府連 男性 52歳
兵庫県 北六甲・烏帽子岩をクライミング中、テラスで突然、意識を失った。周囲の人が下に下ろし、ヘリを要請。救急病院に搬送されたが、急性心不全で死亡。
7月14日 新潟県・越後駒ヶ岳でROUSANパートナース会員(男性)68歳(茨城県在住)が山小屋一泊の予定で二人で入山。ペリスが遅く単独行動となったが、急性心疾患で死亡。パートナース本部に登山届はでていなかった。

今後の労山のあり方
「組織基本問題調査会」が
全国評議会に答申

今年(2015年)2月にしてこの2年間に4回の調査会を開催しました。開催にあたっては、テーマを3分野に分け、3つの委員会を設置して討議をすすめています。その体制は表のとおりです。
以下に最終答申の要点を紹介します。これを受け、全国理事会は今後の具体化をはかり、来年の全国総会に提起していきます。

- 第31期全国連盟役員
2015年2月21～22日の全国評議会にて、副会長1名の交代と理事3名の補充がありました。
(会長) 西本武志
(副会長) 尾谷賢(新) 渡邊健治
赤間弘記 佐々木功
金井光正 洞井孝雄
滝上肇 小形正則
森田南海男 樺島祥平
※安田治副会長は退任(理事長) 浦添嘉徳
(副理事長) 石川友好 大澤辰雄
高橋友也 花村哲也
廣木国昭 藤元理津子
(事務局長) 川嶋高志(理事)
伊藤正勝 上野美知代
臼井邦徳 岡田賢一
久保典子 後藤真一
今野善伸 田上千俊
松野千代加
(以下は新任) 池谷友夫
塩澤良雄 山本尚徳
(監事) 田辺哲夫 渡辺三男

労山のルーツをたどる 遭難対策基金の創設

シリーズ第4回

日本勤労者山岳連盟が行っている諸活動のなかで、万一の山岳事故にそなえた「新特別基金」(以前は遭難対策基金)略称「遭難基金」制度は、すぐれた制度として登山界のなかでも高い評価を受けています。また、その積み立て金の一部は不動産(労山事務所)として活用され、毎年の払込額の一定割合が、地方連盟の学習活動や救助隊活動にも補助金として支出されています。

●保険会社に依存しない 自主的な互助制度として

この遭難基金制度は、1960年に労山が創立されてから10年をへたころに、創立に向けた声が生れま

した。労山は1970年代にさしかかって、連盟の体制整備もすすみ、全国の会員数は1970年に5千名を突破しました。その一方で遭難事故も増大し、対策強化が急務となったのです。

遭難対策には、①登山者

教育、②救助体制、③金銭的補償、の3つの側面があり、お互いに関連して、強化発展させていくべきものです。

しかし③については当時、保険会社を利用するしかなかった。基金創設は時期尚早だといふものがあります。このため、1971年3月の第8回総会では議案提案でき

ず、「中間報告」となりまして、この総会では広域常任理事会体制が見直され、首都圏中心の常任理事

金が大きくなれば、給付内容も改善していくし、組織活動の大きな柱になっていくだろう、というのです。

最初の論議は、1969年の第6回全国総会で、東京都連盟から提起されまし

た。そして翌1970年4月の第7回総会では、都連盟から具体的な基金創設提案が出されました。しかし、この段階で全国広域常

任理事会は、制度創設に否定的見解を示していま

した。遭難対策は教育と救助体制整備が先行すべき

●関東で先行実施
あいつぐ遭難事故

このため、都連盟を中心に関東ブロックでは、独自に基金を先行実施することとし、1971年11月に

「労山遭難対策基金」を立ち上げました。その内容は1口500円で10口まで加

入者200人からスタートしたこの制度は、翌年から徐々に加入者が増え、地域も広がり、1973年までに21都道府県に拡大しま

した。こうしななかで、労山内で重大な遭難事故が連続し

ました。1972年3月に富士山で発生した雪崩により、静岡県・清水労山の11名が、また中央アルプス・木曾駒ヶ岳で愛知県・中央アルパインクラブの2名

があいついで遭難し、多額の救助・捜索費用が必要となりました。これに対して全国常任理事会は全国の労山会員に救済カンパを要請し、5月までに130万円が寄せられました。この年は、この2件も含めて19名の労山会員が死亡していま

●全国統一の制度を創設 加入者増で給付改善

こうした事態を受けて、1973年2月の第10回全国総会では代議員から全国統一の制度としての遭難対策基金創設へ強い要望が出されました。

このため同年6月の全国

労山遭難対策基金・新特別基金の歩み

- 1969年3月 第6回総会で東京都連盟より基金創設へ意見が出される。
- 1970年4月 第7回総会で東京都連盟より遭難対策基金創設の具体的提案が出される。しかし、全国広域理事会は教育や救助体制整備が先決として否定的見解。
- 1971年3月 第8回総会では遭難基金について提案できず、「中間報告」になる。
- 1971年11月 関東ブロックが先行して「労山遭難対策基金」を立ち上げる。1口500円で10口まで。200人の加入者でスタート。後に21都道府県に拡大。
- 1972年3月 富士山で静岡県・清水労山11名が雪崩遭難、木曾駒ヶ岳で愛知・中央アルパインクラブ2名が遭難。全国常任理事会は両遭難に救済カンパを呼びかけ、5月までに130万円以上が集まる。
- 1973年2月 第10回総会で全国的基金創設へ強い要望が出され、6月常任理事会で基金設置を決定。
- 1974年3月 第11回総会で全国統一の「労山遭難対策基金制度」を決定。
- 1998年 加入者2万人を突破。
- 2005年4月 新保険業法が国会で成立
- 2008年4月 同法が施行される。
- 2009年4月 労山新特別基金制度に変更。

●なぜ「新特別基金」? 今後も規制拡大の可能性

と映りました。このため政府に働きかけて2005年に保険業法が改悪され、自主共済は原則、禁止されて

ました。これに対して私たちは、他団体とも協力して粘り強く、適用除外の運動に取り

組みました。その結果、寄付金後払いの新制度へ移行を実現しました。これが現在の「新特別基金」です。

「新特別基金」って名前はよくわからない、いままでどおり前払い方式には戻せないのか?という疑問を聞きます。2008年に新保険業法が施行されたとき、労山はまず1年間の特別措置として遭難基金を「労山特別基金」に移行させました。さらに1年後の



Japan Workers' Alpine Federation
JWAF
Membership Card
日本勤労者山岳連盟
〒03-3260-6331 TEL: 0120-44-2742
FAX: 03-3235-4324 TEL: 03-3260-1825
URL: www.jwaf.jp E-mail: jwaf@jwaf.jp

労山カード 活用しよう いろいろ 割引あり

各会からの申請により、労山会員一人ひとりに手渡されている労山会員証(JWAFメンバーシップカード)は、山小屋、登山用具店など、労山の優待施設で提示すれば割引をつけることができます。



2016年度 労山カレンダー作品募集は終了しました。
Information
2016年度 労山カレンダー作品募集は終了しました。
2016年10月1日 労山カレンダー作品募集は終了しました。
2016年10月1日 労山カレンダー作品募集は終了しました。

労山ホームページ「ヤマトモ」の文字の上に会員優待施設一覧がある

その一覧表は、日本勤労者山岳連盟ホームページのトップページ上中ほどに「会員優待施設一覧」のボタンがありますので、お出掛けのまえにぜひご覧ください。
優待施設には山小屋などの宿泊施設、登山用具店、クライミングジムがありま

す。また、白馬・杵池高原や八方尾根の Gondola 乗車券、八方温泉などの入浴料も割引となります。
ご利用の際には必ず、各自が自分のカードをお持ち下さい。代表者のみは不可です。

「新特別基金」って名前はよくわからない、いままでどおり前払い方式には戻せないのか?という疑問を聞きます。2008年に新保険業法が施行されたとき、労山はまず1年間の特別措置として遭難基金を「労山特別基金」に移行させました。さらに1年後の

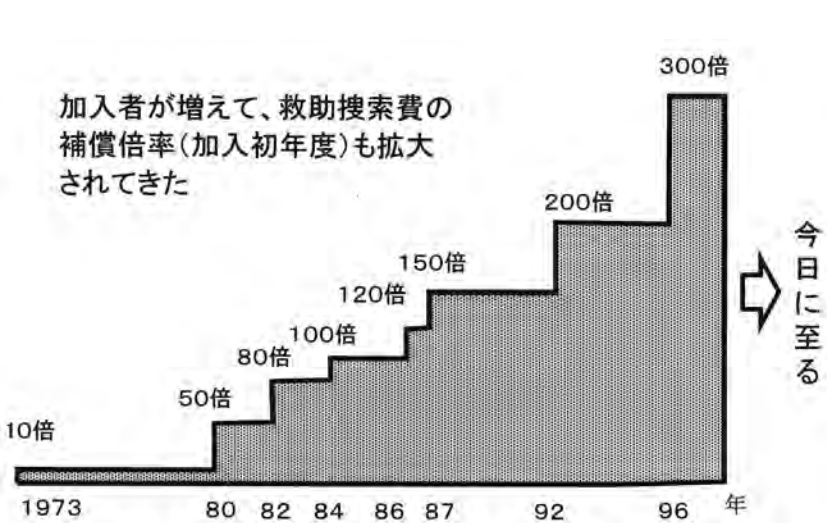
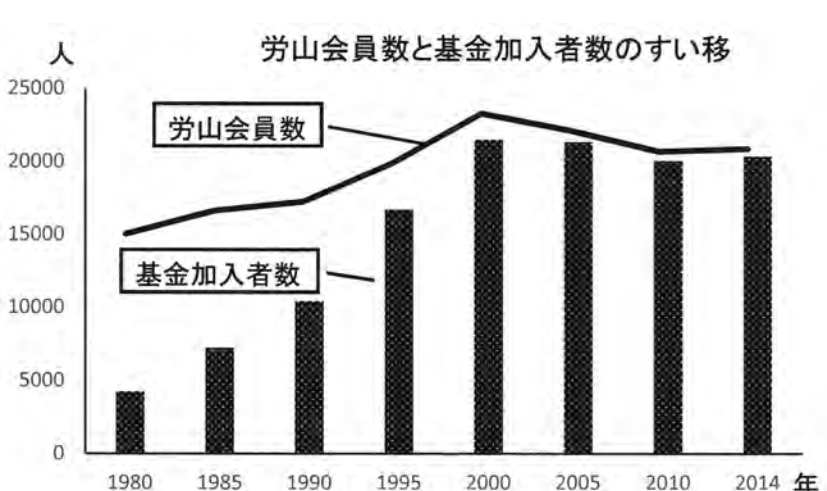
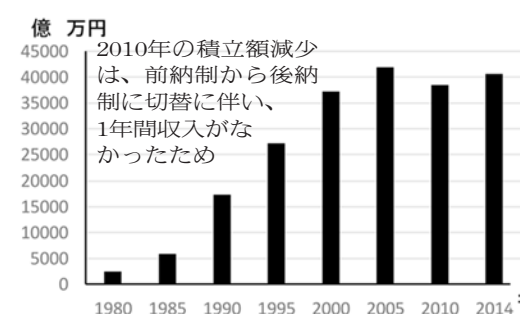
2009年4月、この新方式を継続させることが可能と判断し、「労山新特別基金」と名称もあらためて、今日に至っています。その一部が「安全対策基金」

に保険会社とタイアップし

基金積立額の推移

1980年	2443万円
1985年	5863万円
1990年	1億7341万円
1995年	2億7197万円
2000年	3億7241万円
2005年	4億1836万円
2010年	3億8485万円
2014年	4億0629万円

基金積立額
2005年までは、第2種基金次期繰越額
2010年以降は当該年12/31現在の基本財産+安全対策引当金額の合計(一部は不動産=労山事務所として保持)





なま覗う
ろーをよ
いホジミ
ろのーて
い会へい

ホームページを作ろう

いま、新しい会員を獲得するために、ホームページを立ち上げています(メディア局調べ)。しかし、数年前に比べると、やや減少しています。現在、労山635会・クラブのうち214団体で独自ホームページを立



登山時報2015年7月号
表紙写真は白馬岳のコマクサ

●「登山時報」は全国を結びます
皆さんは、日本勤労者山岳連盟が毎月発行する月刊誌「登山時報」を購読していますか？
「登山時報」は、全国のさまざまな登山活動や会活動、登山に関する知識が幅広く盛り込まれた労山の機関誌です。また、外に向けて労山の活動を知ってもらうための重要な役割を果たしています。全国に2万人いる労山の仲間のみならず、このため、全国連盟は、「登山時報」の普及・拡大をめざすキャンペーンに取り組んでいます。

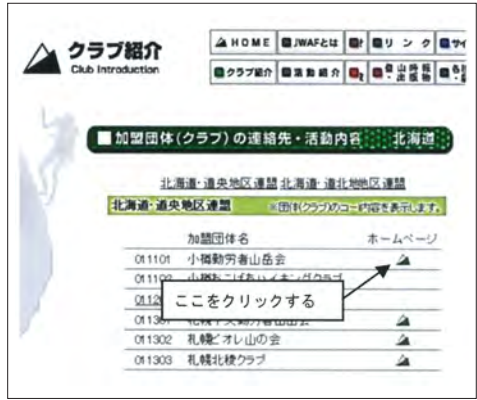
連盟組織の総力で「登山時報」の普及・拡大を

●希望する地方連盟・各会には、バックナンバーを見本誌として無料で提供・送付します。
●各地方連盟では必ず理事の議題として取り上げ、担当を決めて普及に取り組んで下さい。
●内容に関するご意見や改善要望を、編集委員会にお寄せ下さい。



登山時報2015年8月号
表紙写真は乗鞍岳と焼岳

●購読料
月310円 年間3720円
自宅に直送の場合は月380円(送料込み) 年間4560円
●購読申込先
各会担当者
または全国連盟事務局へ
FAX 03-3235-4324
メール jwaf@jwaf.jp



日本勤労者山岳連盟ホームページからは、各会のHPを簡単にワンクリックで見ることができる

HPを作るには3つの準備が必要

それでは、HPをつくるには何が必要でしょうか。3つの準備が必要です。
①ホームページの中身、②サーバ、③ドメイン。①は当然ですね。画面作成のソフトもいろいろ市販されています。しかし、これだけでネット上にHPをアップすることはできません。H「住所」の意味で、電子メ

Pは、インターネットと接続したコンピュータ上にデータを格納し、他の人がアクセスして見られることが必要です。このコンピュータが②のサーバです。通常、どこかの会社が運営しているかを特定する符号が必要で、それが③のドメインです。ドメインは

ールのアドレスと同じで、このサーバとドメインをセットで取得することがHP作りには不可欠ですが、この方法がなかなか初心者にはわかりづらいものです。取得はネットを通じてプロバイダを決め、行うのですが、無料と有料があり、無料のものはHP画面に広告が入ったり、無料のつもりで進めていくうちに知らぬ間に有料になっていたりしかねないので注意しましょう。やはり、こうした知識のある人の力をかりるのがいいでしょう。この点で、地方連盟の中で進ん



「ハイキング愛好者の要望に応えよう」を基本姿勢に当日は満席となる盛況ぶり

福井県 みんなで取り組んだ会の再建 あしHCの教訓 荒川克巳

——各地のハイキングクラブで会員が高齢化し、解散する会も出ています。そうしたなか、一念奮起して会員拡大に取り組む会もあります。その貴重な経験が、「登山時報」2015年6月号から転載します。なお、スペースの関係で一部をカットしました。
わが会は楽しく回っていた。月2回の山行を欠かさず実施し、雨の日も大雪の日もめげずに全季節ハイキングの伝統を守りつつ、しかし、かつて20人だった会員数は、気がつけば13人。これを会員みんなで話して、月2回の山行を欠かさず実施し、雨の日も大雪の日もめげずに全季節ハイキングの大事に一歩だった。全員がこのコンセプトを共有し、力を尽くすこととなった。
チラシは千枚を手分けして友人、知人、さらには登山口各所で配布した。講座の案内をマスコミ、ミニコミ、フリーペーパーに送付した。
新聞は小さな抜いたが、フリーペーパーや医療生協機関紙は大きく紹介とりふたりと会員が減るなか、このままではいけないとの思いが満ちてもいた。楽しいだけの会では、会の存在が長続きしない——昨年4月初めの総会での思いが一致した。
ハイキング講座を開いて新しい会員を増やしてゆく。テキストには労山発行の「ハイキングABC」を使う。全体をつらぬく基本姿勢(コンセプト)は、①「登山時報」を元に私が1時間の講義。さらに、最近の福井県内の遭難事故事例と、私自身の若いころの遭難騒ぎをおりませた。
実技登山は福井県内の山を2つ選んだ。一般参加は12人。いずれも好天で、地図の読み方、危険箇所での三点支持、ロープの張つてある斜面の下り方……一緒に汗を流し、参加者と話し込んだ。そして、つぎつぎと入会の申し出が。30歳代、40歳代を含む5人の新会員が誕生した。私たちの努力は報いられた。
振り返れば、私たちにこれらのことができるだけある。なによりも豊かな山行経験と危険を乗り越える技術と知識を持ち、チームワークもできている。
私たちの会は、会員にとつての心のよりどころであると同時に、山を愛する多くの人の心のよりどころとならねばならない。講座のコンセプトもそこを志向していた。それを確認した今回の取組だった。
(今年、会員は23名となり、第2回の講座を開催しさらに2名の会員が増えた)



実習参加者からつぎつぎと入会申込が努力はむくわれた

しのびよる高齢化 減る会員 このままではいけない
振り返れば、私たちにこれらのことができるだけある。なによりも豊かな山行経験と危険を乗り越える技術と知識を持ち、チームワークもできている。
私たちの会は、会員にとつての心のよりどころであると同時に、山を愛する多くの人の心のよりどころとならねばならない。講座のコンセプトもそこを志向していた。それを確認した今回の取組だった。
(今年、会員は23名となり、第2回の講座を開催しさらに2名の会員が増えた)